



第 46 期

中間報告書

平成21年11月1日から平成22年4月30日まで



イハラケミカル工業株式会社
IHARA CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

人と自然のニーズに応える イハラのチャレンジスピリット



代表取締役社長 望月 信彦

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平成22年3月18日に当社静岡工場において液体焼却設備に付帯するタンク爆発事故が発生しました。近隣の皆様、株主様、お取引先様など多くの方々にご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。当社としましては、事故の原因究明と再発防止策の徹底に取り組んでおり、更なる安全操業を目指し、社会的信頼の回復に努める所存でございます。

中期経営方針

「～Proactive Approaches toward Customers' Functions～ 顧客価値実現に向けた能動的取り組み」

1. 「自らチャレンジする企業風土」を醸成し、環境変化に応じたスピーディーな対処により、常に業績拡大が期待できる事業体質を構築する。
2. 今後上市が計画されている複数の新規農薬原体の安価・安定的な生産・調達体制を確立する。
3. 外部調達の更なる深耕を目指し、そのリスク管理と技術指導・品質保証体制を盛り込んだ「調達戦略」を構築し、製品の最適条件での調達を実現して「利益最大化」を図る。
4. 経営基盤強化のため、内部統制の充実とコンプライアンスの推進を図るとともに、事業継続計画の策定により、リスクマネジメントを徹底する。



事業の概況

さて、当社第46期上半期の事業の概況と中間決算につきましてご報告申し上げます。

当上半期におきましては、中国をはじめとする好調な新興国経済を背景に輸出や生産が増加するとともに企業の設備投資と個人消費は緩やかに回復しつつありますが、欧州を中心とした財政悪化と国内における物価下落傾向等の不透明な要因ももうかがわれております。

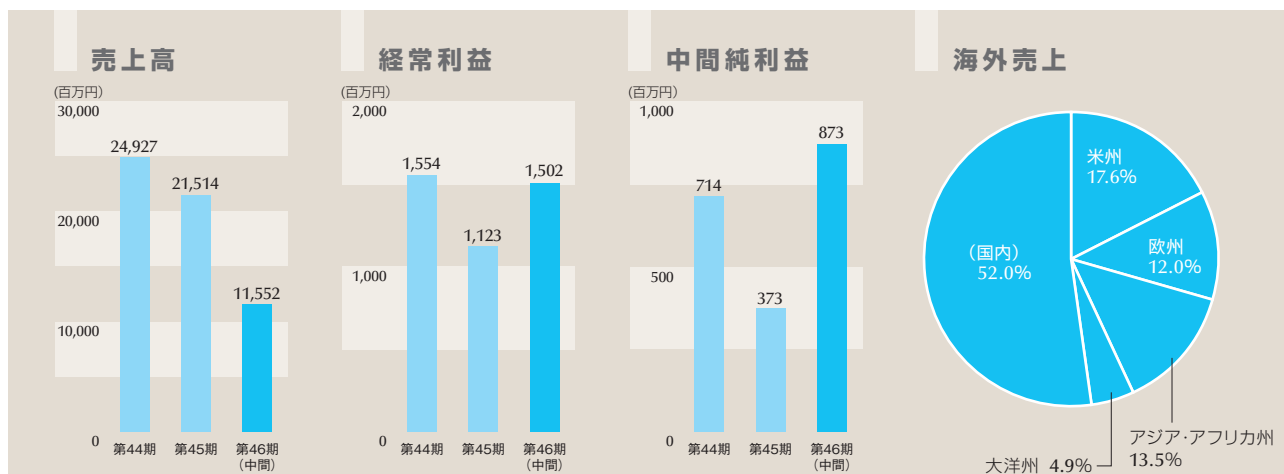
化学工業界、農業業界におきましても、需要の回復による収益の改善が見込まれるものの、原油価格の上昇・世界情勢による為替の変動等の影響により、依然として厳しい状態が続いております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期的視点に立った投資計画の策定、新製品の上市に向けての調達手段の最適化と顧客への能動的活動の徹底による競争力の確保、原材料費と製造経費の削減に努めました。

その結果、当上半期における当社グループの連結業績は、売上高115億5千2百万円（前年同期比4千7百万円減）、営業利益13億1千6百万円（前年同期比2億1百万円増）、経常利益15億2百万円（前年同期比2億6千2百万円増）、中間純利益8億7千3百万円（前年同期比2億4千6百万円増）となりました。

下半期につきましては、当社グループといたしまして、安全性の確保を第一に新製品の開発および上市・増産など持続的・安定的な業績向上に向けて不断の努力を重ねてまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



部門別概況

有機中間体部門

医薬および農薬等の有機中間体（受託品およびクロロトルエン系化合物等）につきましては、国内販売の農薬原体の中間体や医薬の中間体の堅調と材料分野の市況回復はありましたが、輸出の農薬向け中間体の減少により、当部門の売上高は、前年同期比2.4%減の54億1千4百万円となりました。



アミン類部門

ウレタン用架橋剤、ポリウレタ樹脂原料等を主体としたアミン類につきましては、依然、輸出の工業用部品向けが低調でありましたが、国内販売の建材用、ウレタンゴム原料が回復したため、当部門の売上高は、前年同期比2.6%増の8億5千8百万円となりました。



農薬原体部門

除草剤、殺菌剤を主とした農薬原体につきましては、国内販売は混合剤である水田除草剤等が好調となりました。輸出も主力の棉花用除草剤の増加はありましたが、殺菌剤、植物調整剤が不調であったため、当部門の売上高は、前年同期比3.0%増の41億1千万円となりました。

産業薬品部門

主に製紙業界向けの防腐剤、臭素原体類等の産業薬品につきましては、製紙、水産および木材業界の事業環境の回復により、防腐剤、スラコン剤、漁網防汚剤等の増加となり、当部門の売上高は、前年同期比6.3%増の7億6千9百万円となりました。



その他部門

その他につきましては、ファフィア酵母（飼料添加剤）、表面処理剤、工業薬品類等の減少により、当部門の売上高は、前年同期比20.6%減の3億9千9百万円となりました。

環境・品質・安全 への取り組み

共存共栄の環境づくりはイハラの真摯な願いです。

イハラケミカル工業は豊かで健やかな地域社会の発展に寄与するため、人々の暮らしを守ることを念願に無公害企業を目指して努力してきました。

大気汚染・水質汚濁・騒音・臭気・振動などの多岐にわたる問題について、未然の防止を基本方針と

して対応しています。生産設備、保安設備、公害処理設備などのハード面、緊急時に備えた管理体制の確立や訓練などのソフト面を共に強化し、全社一体となって公害の防止と保安の確保に努めています。

環境保全

イハラケミカル工業株式会社は、経営理念「人と自然のニーズに応え、新しい価値の創造を通じ、豊かな人間社会の実現に貢献する。」に従い、「人と自然」の調和を経営の最重要課題の一つとしてとらえ、ISO-14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、組織で働く人及び組織のために働く全ての人の参加による環境の継続的な改善を推進します。



安全操業

「無事故・無災害による安全操業の確保」をスローガンとして諸活動を通じ安全操業に努めております。



品質保証への取り組み

イハラケミカル工業では、「高品質」、「低コスト」、「環境に優しい」をキーワードとし、農薬原体、農医薬中間体、その他ファインケミカルズ製品の工業化に向けて、これまで蓄積したノウハウを基礎とし、新技術の開発に対し積極的に取り組んでいます。また、常に皆様のニーズに合ったコスト、品質、納期で生産を行うべく、適切な設備と管理体制の構築に努めています。



中間連結財務諸表（要旨）

■ 中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 (平成22年4月30日現在)
資産の部	
流動資産	21,065
固定資産	20,561
有形固定資産	10,070
無形固定資産	40
投資その他の資産	10,450
資産合計	41,626
負債の部	
流動負債	6,429
固定負債	2,649
負債合計	9,079
純資産の部	
株主資本	27,795
評価・換算差額等	1,825
少数株主持分	2,926
純資産合計	32,547
負債及び純資産合計	41,626

■ 中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 (平成21年11月1日から 平成22年4月30日まで)
売上高	11,552
売上原価	8,205
売上総利益	3,347
販売費及び一般管理費	2,031
営業利益	1,316
営業外収益	234
営業外費用	48
経常利益	1,502
特別利益	96
特別損失	117
税金等調整前中間純利益	1,481
法人税等	497
少数株主利益	110
中間純利益	873

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間期 (平成21年11月1日から 平成22年4月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 336
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増加額	1,004
現金及び現金同等物の期首残高	5,081
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,085

会社の概況

(平成22年4月30日現在)

主要な事業内容 有機中間体（医薬、農薬等の有機中間原料）、アミン類（ウレタン用架橋剤、ポリウレア樹脂原料等）、農薬原体（殺菌剤、除草剤、殺虫剤等の原体）、産業薬品（工業用殺菌剤等）等の製造、販売を主な事業としております。

資本金 2,764,559,399円

事業所 本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号
生産部 静岡県富士市中之郷1800番地
(静岡工場)
研究所 静岡県富士市中之郷2256番地

海外駐在員事務所 日本庵原化学工業株式会社上海代表処(中国)

役員

取締役社長（代表取締役）	望月信彦
専務取締役（代表取締役）	今村寿彦
常務取締役	余田比呂志
取締役	杉山辰雄
取締役	丸山春樹
取締役	早川正人
取締役	吉田文隆
取締役	上田一誠
取締役	石原英助
監査役（常勤）	流石正
監査役	浦田善弘
監査役	田村駿
監査役	高木敬一郎

(注) 監査役のうち浦田善弘、田村駿の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社 イハラニッケイ化学工業株式会社（静岡県静岡市清水区）
ケイ・アイ化成株式会社（静岡県磐田市）
株式会社ネップ（東京都台東区）

持分法適用会社 イハラサービス株式会社（静岡県富士市）
イハラ建成工業株式会社（静岡県静岡市清水区）
アイシーケイ株式会社（東京都足立区）
ケイ・アイケミカルU.S.A. Inc.（米国）
ケイ・アイケミカルヨーロッパS.A.（ベルギー）

株式の概況

(平成22年4月30日現在)

発行可能株式総数 99,500,000株

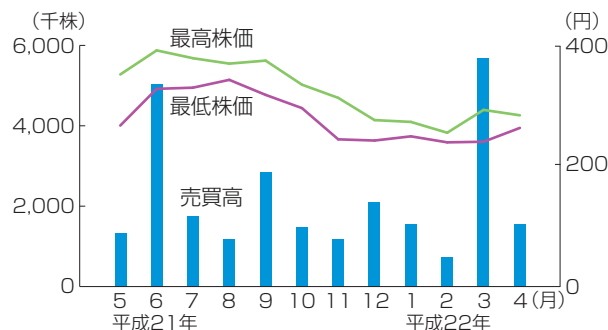
発行済株式数 51,849,917株

株主数 6,817名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
クマイ化学工業株式会社	6,239	12.03
共栄火災海上保険株式会社	2,149	4.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,769	3.41
農林中央金庫	1,504	2.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,495	2.88
スルガ銀行株式会社	1,191	2.30
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	774	1.49
日本生命保険相互会社	750	1.45
株式会社えいらく	742	1.43
日本曹達株式会社	729	1.41

株価の推移



ホームページのご案内



当社はインターネット上にホームページを開設し、さまざまな情報をご案内しております。
なお、7月にホームページのリニューアルを予定しております。

ホームページアドレス <http://www.iharachem.co.jp>

株主メモ

事業年度
定時株主総会
基準日
公告方法

毎年11月1日から翌年10月31日まで
毎年1月開催
定時株主総会・期末配当金 毎年10月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
(電話照会先)
(ホームページアドレス)

電子公告
当社のホームページに掲載する。
(<http://www.iharachem.co.jp>)
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載する。
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-176-417
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>